

福田紀彦川崎市長の政策



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブナイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 常任幹事
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住

(事務局)

11月19日、川崎市の新市長として福田紀彦さんが就任されましたね。新市長のもとで、川崎市の市政はどう変わるのでしょ

(堀添)

はい。民間企業でも同じですが、経営トップが交代するとこれまでの戦略・政策の見直しが行われます。これまでの12年間の阿部市政を福田新市長の視点で再評価する作業がはじめられていると思

(事務局)

他候補もそうでしたが、今回の選挙では政策面での具体的な中身はあまり明らかにならなかったように思います。

(堀添)

福田市長は、選挙中に14項目のマニフェスト(下記参照)を示しており、この中身は今でも福田市長のホームページでも確認できます。とはいえ、これらは理念的なものも少なくないですから、具体的にどういう政策を実現していくのかについては、これからの議論によって明らかにしていく必要があると思います。

とくに、11月29日から始まる市議会定例会での施政方針演説では、川崎市の市政全般にわたって、かなり踏み込んだ政策が明らかになるものと思われますので、まずはここに注目する必要があります。

また記者発表の中では、これから総合計画の策定にも着手していくとのことですので、どのよ

- 教育こそ、日本一の川崎に！
- 「母になるなら川崎市」と言わせてみる！
- “市内需”の拡大で地元企業を大事にする！
- 命を守る！消防・救急の強化で“いざ”に強い都市に。
- あー、もったいない！シニア世代の知識と経験
- 県内で一番高い介護保険料からの脱却！
- 無料インターネット環境が世界で最も進んだ都市へ！
- 交通問題は地域経済の柱、市民生活の足。
- 健康は全ての源！健康寿命を伸ばします！
- 身近なことは区で決める！権限と予算を“区”に移譲。
- ドキドキ、わくわくする街はスポーツと文化、そしてお祭り。
- 障がい者雇用で日本一を目指す！
- 「ねえ、市長！」声が届く、身近な市長に。市民市長は現場主義！
- 1期4年間で3,120万円の市長退職金は廃止！

うに計画を策定していくのかという点も、ポイントになってくると思います。私たち市民が計画策定にどのように関わっていくのか、そして市議会での議論とどのように関連づけていくのかということが問われるのではないのでしょうか。

その意味では、14項目のマニフェストの一つでもある「権限と予算を“区”に移譲」の、最初の試金石と言えると思います。

(事務局)

まずは市議会初日での演説が注目されますね。ありがとうございました。

川崎市における放射線測定結果(11月27日現在)

浄水場：川崎市内の2か所の浄水場では、毎日放射能測定を行っていますが、一昨年4月22日以降、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも検出されていません。

大 気：環境総合研究所、中原大気測定局、麻生大気測定局で、放射線量実態調査を毎月行っており、地上5cm、50cm、100cmとも自然界の放射線レベルの範囲内です。
(11月は7日に実施)

市内農産物：果菜類(トマト、きゅうり)、根菜類(さつまいも、大根、玉葱)、果実(梅、梨、柿)の出荷前チェックでは、一昨年5月に梅(セシウム：29.5ベクレル/Kg)、10月に柿(セシウム：4.5ベクレル/Kg)から検出された以外は、検出されていません。
(食品衛生法上の基準値は一般食品100ベクレル/Kg以下)

水道水：不検出

下水汚泥等：入江崎総合スラッジセンター(11月11日測定) 放射性セシウム測定
脱水汚泥：不検出 汚泥焼却灰：504 Bq/Kg
(焼却灰は飛散防止処理の上、施設内等で安全に保管されています。)

ごみ焼却灰：橋処理センター(10月25日測定) 放射性セシウム測定
主 灰： 51 Bq/Kg
飛 灰：104 Bq/Kg
排ガス： 不検出

**放射線測定器の貸し出しを高津区役所でも行っています。
(電話予約が必要です。044-861-3113)**

連載コラム 川崎と高津の地名 (No.16) 参考：上田恒三著「高津村風土記稿」
日本地名研究所編「川崎の町名」

「明津」の由来

アクツという地名は、関東から東北にかけて多くあります。「明津」の外に、阿久津、悪津、坏、阿久戸、悪戸、悪田、芥などと書かれますが、いずれも、低地で水はけの良くないところとなっています。高津区の阿久津も、矢上川と江川の合流地点から上流側に挟まれた低地のため、もともとは全域が湿田となっていました。洪水の折には水塚古墳だけが浮島のように水上に残ったそうです。その後、築堤や配水技術の進歩などにより開発が進み、「悪津」から「明津」へと改称されたと言われています。

16世紀の末に、子母口村から明津村が分村し、江戸時代の初めは旗本の領地となっていました。元禄10年(1697年)に幕府直轄領となり、その後、増上寺領となって明治維新を迎えました。

明治22年の市町村制施行に伴い、明津村は橋村大字明津となりました。

また、明治42年には旧明津村内熊野神社が子母口の橋樹神社に合祀されています。



毎週、最新ニュースを駅頭でお配りしています。

水曜日 午前7時～8時半 溝口駅南口 / 金曜日 午前7時～8時半 梶が谷駅

政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替：高津郵便局 口座00270-1-24169
銀行振替：川崎信用金庫 高津支店 普通0796294